

# 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：進学奨励費

## 事業名 **新** 事務自動化ソフトウェア導入事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育財務課 管理経理係 電話番号：058-272-1111 (内 3558)

E-mail：[c17773@pref.gifu.lg.jp](mailto:c17773@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 2,878 千円 (前年度予算額：0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,878	0	0	0	0	0	0	0	2,878
決定額	2,878	0	0	0	0	0	0	0	2,878

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

教育委員会においては、高等学校等就学支援金、特別支援教育就学奨励費等でマイナンバーを利用した審査が導入されたことに伴い、毎年大量の定型作業が新たに生じることとなった。

職員を増やすことは困難である状況の中で、事務自動化ソフトウェアロボット(RPA)の導入により業務の効率化を図ることで、「単純作業」、「定型作業」から「付加価値の高い作業」へのシフトとともに、長時間労働抑制等による働き方改革の推進を実行していく。

### (2) 事業内容

教育委員会において実施しているマイナンバーパソコン上の定型的な業務に、事務自動化ソフトウェアロボット(RPA)を導入することにより、単純業務の自動化を図る。

また、更なる自動化・省力化を推進するため、紙帳票を電子データ化する文字認識ソフトウェア(OCR)等を利用した自動化について、検証を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

有（情報企画課で実施）

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	420	事務自動化ソフトウェア シナリオ作成業務委託
備品購入費	148	事務自動化検証用備品購入
使用料及び 賃借料	2,310	事務自動化ソフトウェアライセンス料(990) 文字認識ソフトウェアライセンス料(1,320)
合計	2,878	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県教育振興計画」（第3次教育ビジョン）に基づき、ICTの活用等により、業務の効率化を図る。

(2) 他県の状況

都道府県の導入状況（実証含む）

- ・事務自動化ソフト 39 団体
- ・文字起こしソフト 30 団体

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

業務量は増加するものの、職員を増やすことは困難である状況の中で、「単純作業」、「定型作業」から「付加価値の高い作業」へのシフトを目指すとともに、事務事業の効率化、長時間労働の抑制等働き方改革を推進する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				(前々年度末時点)		
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

実証段階であるため。

### （前年度の取組）

下記の業務で RPA を導入した。  
・ 高等学校等就学支援金【教育財務課】

### （前年度の成果）

高等学校等就学支援金の令和 2 年 4 月審査において、約 200 時間の作業時間を削減することができた。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	働き方改革、業務効率化のツールとして導入を検討するため、必要である。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	一定の業務時間削減効果が見込まれる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	効率化のための事業である。

### (今後の課題)

<p>RPAについては、制度改正等に合わせて、随時プログラム修正が必要不可欠である。実証段階においては、審査結果の正確性を担保するために、人的審査を併用して審査する体制の維持が必要</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>導入するうえでの課題を整理し、学校の事務改善にも展開することを検討していく。また、更なる自動化・省力化を推進するため、文字認識ソフトウェア（OCR）等の導入を検討していく。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	